

## 「本庄事業所の今」

本庄支部 吉田 豊

1942（昭和17）年6月、日本衛材株式会社本庄工場の起工式が挙行された。  
エーザイ本庄工場（事業所）の産声だった。  
それ以来76年間、エーザイ(株)の生産、研究、開発、技術の母港として2018年9月迄航空母艦の如くエーザイ(株)を支えて来た。  
本年、プリントパック(株)（京都）に譲渡され、その後11月末を完了とする解体工事が続けられて来た。ここに事業所の今を報告し、惜別の情を持ってお知らせします。

蛤のふたみにわかれゆく秋ぞ （松尾芭蕉）



\*正門があった場所から西をみる。  
目の前に桜、遠い黄色のネットの近くに組合事務所、その先に本庄高校の北にあるマンション2棟。  
その手前に管理事務所、池などがあった。  
今、エーザイの名を遺す物は工場前のバス停「エーザイ前」と本庄高校へ続く道の高柳歯科の隣にあった「エーザイ社員駐車場・B駐車場」だけになった。



本庄高校へ続く道から東北を見る。遠くに見える山は赤城山。約1万坪の跡地には今は草木一本無い。  
数十年に渡って青春群像が繰り広げられて来た舞台は無い。  
では「惜別の歌」の2番を紹介してお終い。

別れと言えば昔より  
この人の世の常なるを  
流るる水を眺がむれば  
夢恥ずかしき涙かな

以上